

かけ橋



九重町立淮園小学校
令和6年 9月 3日
文責 校長 河村雅文

淮園小学校 HP のQR コードです。
よかったら HP もご覧ください。

「8月6日」に改めて考えたこと

37日間の夏休みが明け、淮園小学校に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。長い夏休みでしたが、8月6日には子どもたちが平和集会・平和授業のため登校しました。全校集会前に、子どもたちは各教室で広島平和式典の様子をテレビを見て、いろんな立場で平和へのアピールをする代表者の方々のお話を聞きました。

その後平和集会をし、校長からは、30年ほど前、広島に修学旅行に引率に行き、原爆資料館前で平和集会をしていた時に、声をかけてくれた高齢の男性の話をしました。その方は、平和集会の子どもたちの様子をほめてくれ、二言三言言葉を交わしただけで、お別れしたのですが、その一週間後、当時勤務していた杵築市の小学校にその方からの手紙が届きました。手紙を読んでみると、次の3点が書かれていました。①自分は原爆で身内の方を亡くしてしまったこと。②核兵器を二度と使ってほしくないために時間があれば広島平和公園にきて、犠牲者を追悼してくれる小中学生の集会を見て、核兵器に対する思いを語らせてもらっていること。③原爆投下時、今後数十年は草木も生えないと言われていた広島も、前年度アジア大会を盛大に開催できるほど復興したということ。封筒の中には、前年の広島平和式典や灯籠流しの様子・広島アジア大会の様子が写っている写真を20枚ほど入れてくれていました。その手紙や写真を受け取って、当時の自分は「原爆のことを語ってくれる方が元気なうちはいいけれど、いなくなる日が、そう遠くない将来に必ずやってくる。そうなった時に、原爆の悲惨さや核のない世界を訴えるのは自分たちや将来の社会を支える子どもたちだ」と考えさせられました。子どもたちが歴史の事実を学び、おかしなことにはおかしいとしっかり声をあげられるように成長させていくことが、私たち大人の責務だと思い、その後も平和授業に取り組んできました。

話は戻りますが、冒頭、今年の広島平和式典の話を書きましたが、式の中で、小学生代表の2名の児童が平和のアピールを行いました。自分の言葉で思いを語り、立派なアピールでした。広島語り部のみなさんの思いは、間違いなく次世代に引き継がれていると実感しました。



第2回学校運営会議（第1回学力向上会議）より

8月26日（月）は、本校の第2回学校運営会議が行われ、地域代表・保護者代表・学校代表の各立場の皆さんに参加していただきました。本会の目的は2つで、1つは、本校の学校教育目標（学校評価の4点セット）の1学期までの検証・改善です。2つ目は、4月に行われた5・6年生の学力調査（前学年の内容）の結果と今後の対策です。

学校評価の4点セットに関しては、学校側から1学期の取組や成果・課題を説明した後に、2グループに分かれて学校・家庭・地域の取組に対して成果が期待できる点・改善すべき点を付箋で貼って熟議を行いました。いただいた意見は2学期の学校評価に反映させていきます。また、学力調査に関しては、人数の少なさも関係して、学年によって結果に明暗が出てしまいましたが、今後、学校全体で、各学年の基礎・基本の底上げをしていくことを徹底していきます。12月に全学年の九重町独自の学力調査があるので、そこで各学年結果が出せるように、子どもと関わっていきます。会に参加していただいた皆さん、大変お疲れさまでした。



1学期の学校関係者評価に関しては、[淮園小学校ホームページに掲載](#)しておりますので、ご覧になって下さい。

(様式2)		令和6年度 学校評価の4点セット整理票				2学期版	
九重町		立	淮園小	学校	令和6年 8月 26日		
【学校の教育目標】		主体的に学び、ともに磨き合い、力を高めていく淮園っ子の育成 ～元気・優気・やる気～					
【育成を目指す資質・能力】		基礎学力・コミュニケーション力・主体性					
重点目標	達成指標	重点的取組			取組指標		担当
【知識及び技能の習得】 生きて働く	元気・基礎学力の定着	○ 国語・算数の「知識・技能」「思考・判断・表現」に関わる単元テストで、全児童が設定した目標値を上回る達成率を80%以上にする。(15/19以上)	学校	○ 基礎・基本の定着	○ 教員は、毎週月曜日・木曜日の朝自習と水曜日の放課後にドリルタイムを設定・実施する。	佐藤	
			家庭	○ 家庭学習の充実	○ 教員は、毎時間、評価規準に達しない児童への支援の手立てを講じるとともに、授業内容の定着にむけた家庭学習の工夫(内容、質、量)を行う。		
			地域	○ 「読み聞かせ」の取り組み	○ 保護者は、家庭学習の時間と内容を確認し、家庭学習・読書カードにサインをする。 *学習=10分×学年		
【思考力、判断力、表現力の育成】 未知の状況にも対応できる	勇気(優気)・コミュニケーション力の育成	○ 児童アンケートにおいて、「話し合う活動は楽しいですか」の肯定的回答80%以上 児童アンケートにおいて、「友だちと意見を交流することで新しい見方や考え方ができるようになった」の肯定的回答75%以上	学校	○ 論理的な思考の育成	○ 教員は、1日1回以上は意見を交流する場を設定し、効果的にICT機器や思考ツールを活用する。	佐藤	
			家庭	○ 議論する力の育成	○ 教員は、1日1回以上は児童が考えを伝えたいような課題の工夫や話し合いが深まるような問いの工夫を行う。		
			地域	○ 家読の推進 親子での会話	○ 家庭は毎月15日の「家読の日」(ノーマディア)と一緒に本を読んだり、学校通信やHPを見て学校での出来事について様子を会話したりする。		
【学びに向かう力、人間性等の涵養】 学びを人生や社会に生かそうとする	やる気・主体的に取り組む力の育成	○ 児童アンケートで「生活・学習・運動などの目標を立てて取り組むことで、自分が成長できた」肯定的回答80%以上	学校	○ あいさつや声かけによるコミュニケーション	○ 地域は、「読み聞かせ」やGT等による学校訪問、学校公開日の参観時にあいさつや声かけを行う。	白石	
			家庭	○ 目標に向かう姿を認め、励ますことを中心にした生活・学習指導	○ 教員は、生活・学習・運動の個人の目標設定(学期毎)をさせ、振り返り(学期末)を行う。		
			地域	○ 「淮WAIウイーク」の設定 W:wonderful A:admire I:inspire)	○ 教員は、毎日、学習・生活場面で1度以上認め、励ます。		
【働き方改革の推進】 働き方改革の推進	働き方改革・個々のタイムマネジメント意識の向上	○ 教職員アンケート 「効率的な働き方に努めた」に対して「そう思う」の回答90%以上	学校等	○ 学校の行事、授業参観に参加、協力	○ 保護者は、学期に1回「淮園っ子をほめて励ますウイーク」を実施する。	梶原	
			学校等	○ タイムマネジメントの推進	○ 教員は、やむを得ない場合を除き、勤務終了時刻から1時間以内の退勤、及び、12月までに複数回の計画年休行使(短時間の時間休を含む)を行う。		
			学校等	○ 学校支援活動	○ 保護者は、学校環境の美化・保全作業に協力する。		
学校等	○ GTとして授業に参加(技術等の指導等)	○ 学期に1回以上学習活動にGTとして参加する。					

表中朱書きの分は、2学期に変更した部分です。